

市川市の下水道

下水道は、私たちの“安全で快適な生活”に欠かせない重要な施設です

まちをきれいにする

生活排水などの汚水は、下水道管を流れ、下水処理場を集めて浄化します。汚れた水が溜まらないので、蚊やハエなどの害虫や悪臭の発生が防げ、街が清潔に保たれます。私たちの暮らしが、衛生的で快適なものになります。

トイレの水洗化と生活排水の処理

トイレが水洗になることで、家の内外で嫌な臭いがなくなります。また、台所などからの汚水も下水道に流せるため、街が清潔になり、快適な暮らしにつながります。

浸水からまちを守る

降った雨は、雨水管を流れ、ポンプを介して川などに流します。速やかに雨水を流すことで、浸水被害が起きないようにしています。市川市は海に近く、各河川の最下流部のため水害が起きやすい地形です。安心して快適な生活にとって重要な役割です。

下水道の重要な役割

きれいな水辺をつくる

処理場に流れてきた汚水は、綺麗に浄化して川や海などに戻すことで、水質を保全し水環境をよみがえらせる働きをしています。下水道の整備とともに汚れた川や海がきれいになり、本来の生態系が復活します。

市川市下水道中期ビジョン

市川市の下水道は、外環道路や都市計画道路整備に合わせた流域下水道幹線整備の遅れにより、下水道普及率は約70%にとどまっています。今後本格的な下水道整備を進めていくなか、急増する老朽化施設への対応や地震対策そして浸水対策など、下水道に求められる役割は多様化しています。そこで、本市では人口構造の変化や財政状況など、下水道を取り巻く様々な課題のなか、下水道事業が持続的に発展・向上していくため、概ね10年間で重点的に取り組むべき施策を示す下水道中期ビジョンを策定しました。



雨水



○浸水被害の背景

市川市では昭和30年代後半から、人口増加とともに急激に市街化が進展しました。市街化の進展により地面がアスファルトやコンクリートに覆われたことで、これまで地面に浸透していた雨水が短時間かつ一気に水路に集中するようになりました。このため、水路の排水能力が追いつかず、浸水被害（いわゆる都市型水害）が起きるようになりました。

※河川や水路の改修だけではなく、市街地からの流出を抑制する総合的な治水対策を行っています

▽市川南地区

市川南地区の雨水は水路で集められ秣川排水機場から江戸川へ排水されていますが、市街化の進展により雨水が短時間で流れ込むようになり、水路やポンプの能力が足りず排水が追いつかない状況です。

現在、新たに大和田ポンプ場と効率的に雨水を流すための水路をつくっており、排水能力を増強することで当地区の治水安全度を向上させます。

▽高谷・田尻地区

高谷・田尻地区の雨水は水路で集められ高谷川に流っていますが、市街化の進展により水路の能力が不足し排水が追いつかない状況です。

現在、効率的に高谷川に排水できるようにするために、新たに外環道路の下に水路をつくっています。

また、高谷川河口では千葉県が高谷川排水機場の整備を行っており、これらの排水能力の増強により当地区の治水安全度を向上させます。

